

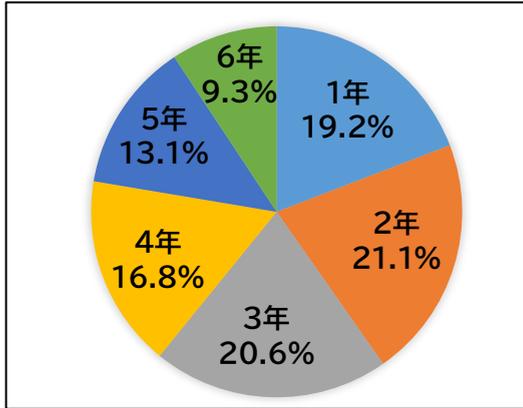
# 令和2年度 「あだち放課後子ども教室」 参加児童アンケート調査結果

## 【概要】

- (1)目的：参加児童の活動状況や満足度の把握  
※満足度は「重点プロジェクト事業評価調書」の成果指標に活用
- (2)対象：区内小学校69校中46校で、放課後子ども教室に参加した児童
- (3)調査日：令和2年11月16日（月）から12月11日（金）までの間の1週間  
※上記期間中、各実行委員会でアンケート調査期間を1週間定めて実施
- (4)方法：無記名式 参加児童にアンケート調査票を書いてもらい、スタッフがその場で回収
- (5)回収数：2,855枚

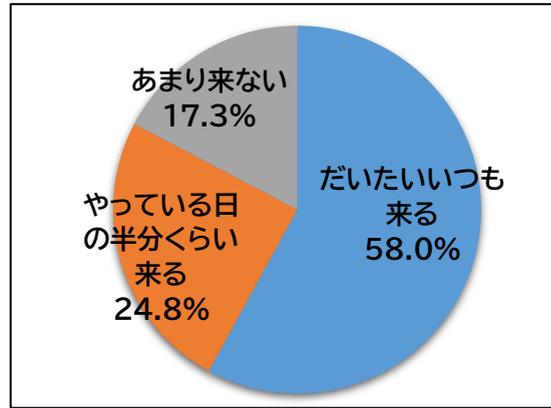
## 【集計結果】

### Q1 何年生ですか



※無回答37名

### Q2 「あだち放課後子ども教室」にどれくらい来ますか【全学年】



※無回答43名

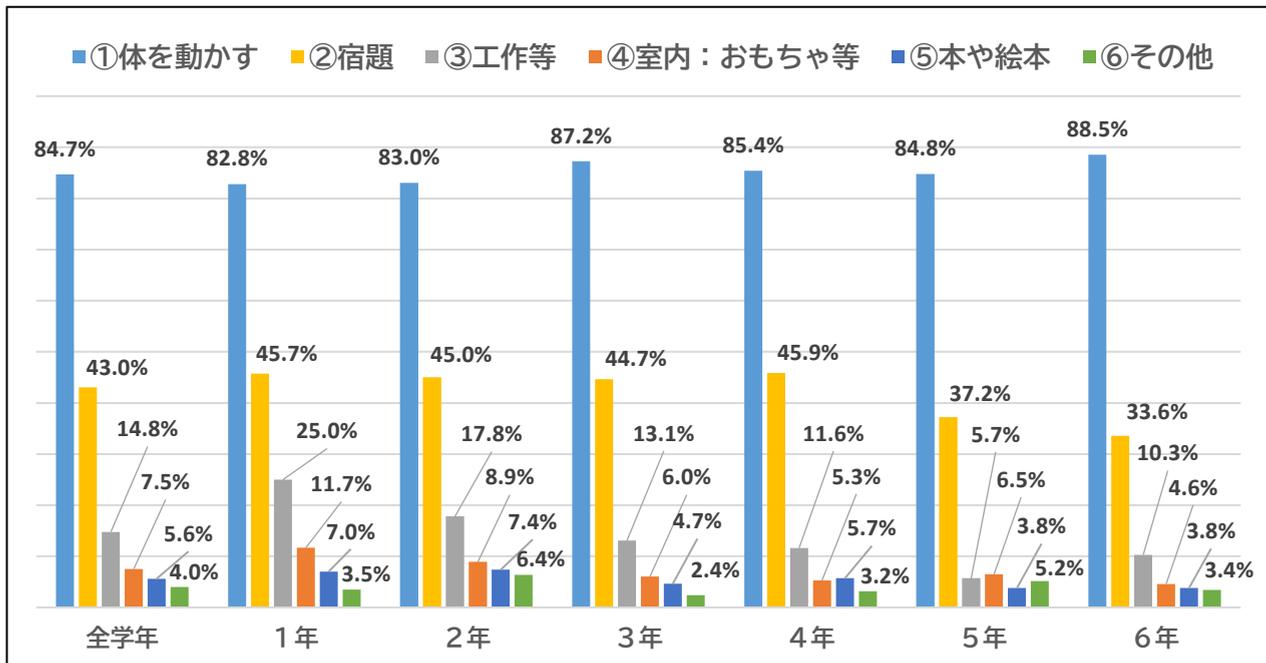
### Q3 「あだち放課後子ども教室」で何をすることが多いですか（複数選択）

【全学年順位データ】

順位	項目	割合
1	校庭や体育館で遊ぶ	84.7%
2	宿題をする	43.0%
3	工作、おりがみ、絵を描くなどして遊ぶ	14.8%
4	お部屋でおもちゃで遊ぶ	7.5%
5	本や絵本を読む	5.6%
6	その他	4.0%

※無回答21名

### 【学年別グラフ】 ※○の数字は、全学年順位の数字



- ・「校庭や体育館で遊ぶ(体を動かす)」は、全ての学年で1位である。放課後子ども教室は子どもたちの運動遊びの場としての役割が大きい。新型コロナウイルス感染症対策としての主な活動場所でもあり昨年度調査78.4%より割合も6.3%増えている。
- ・2位の「宿題をする(勉強をする)」は、昨年度調査51.5%より8.5%減少した。感染症対策での室内活動の影響と考えられるが学習の場として活用されているのはわからない。
- ・3位「工作、おりがみ、絵を描くなどして遊ぶ」と4位「お部屋でおもちゃで遊ぶ」は、今年度順位が入れ替わった。感染症対策の中で一人で活動できる室内遊びとして実施された内容が反映されている。
- ・「その他」の自由記載(103件)が多かったのは、「校庭・体育館での運動・遊び(サッカー、一輪車、おにごっこなど)」(47件)、「室内遊び(ぬり絵、ブロックなど)」(39件)、「宿題や本を読む」(7件)などとなっている。  
〈※回答は、複数選択が可能となっています〉

#### Q4 「あだち放課後子ども教室」は楽しいですか (一つ選択後、理由は複数選択)

項目	割合
楽しい	90.0%
少し楽しい	8.5%
あまり楽しくない	1.0%
楽しくない	0.5%

※無回答40名

- ・「楽しい」と「少し楽しい」の合計は98.5%で、これまでと同様に、高い満足度を継続している。「楽しい」は昨年に比べて4.1%増、「少し楽しい」は3.5%減、全体で0.6%増となっている。
- ・「楽しい」と「少し楽しい」理由は多い順に、「外で遊べる」(2,273件)、「宿題ができる」(1,111件)、「友だちが増えた」(829件)、「スタッフさん(大人)と話ができる」(618件)で昨年と同じ傾向であった。
- ・「あまり楽しくない」「楽しくない」理由は、「きまりがあるから」(17件)、「人が多くて遊ぶ場所が少ない」(11件)、また「その他」では、感染症対策を取りながらの開催で「遊ぶ場所がすくない」「おもちゃで遊べない」などがあつた。

#### Q5 「あだち放課後子ども教室」でやってみたいことはありますか【全学年、自由記載】 回答数 1,603件

「校庭・体育館での特定の運動・遊び(サッカー、一輪車、おにごっこなど) 539件、  
「室内での特定の遊び・活動(ゲーム、工作、おり紙など)」294件、  
「参加者全員で遊びたい」137件、「宿題や読書をしたい」69件、  
「大会やイベントなどを開催してほしい」64件、  
「感染症対策についての希望(会場、活動)」39件、  
「スタッフさんと遊びたい」34件、「今のままで十分」26件、  
「遊具を増やしてほしい」22件、「友だちを増やしたい・遊びたい」17件、  
「おやつや食事を出してほしい」13件など。

注)構成比は小数点以下、第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない